

## 戦略策定の趣旨

### (1) 策定の目的

ICTの急速な発展に対応し、その積極的な利活用を進めることで地域（札幌）の抱える課題を解決し、暮らしの満足度の向上、地域の活性化、行政サービスの効率化等を実現するための戦略を策定

### (2) 位置付け

札幌市における様々な地域課題の解決ツールとしてICT利活用を促進することを明確にし、今後の取組の方向性を市民、企業等に提示

## 戦略策定の背景

### (1) ICT環境の変化

- ・スマートフォン等モバイル端末の普及
- ・SNS、Eコマース等ICTサービスの普及
- ・IoT、ビッグデータ、オープンデータ活用の進展
- ・クラウド化の進行
- ・AIの発達

### (2) 国の動き

世界最先端IT国家創造宣言を策定（平成25年策定、毎年改定）

### (3) ユネスコ創造都市ネットワーク「メディアアーツ都市」への加盟

デジタルテクノロジーの活用による地域や産業の活性化や都市課題の解決

## ICT活用環境の変化

### 札幌市情報化構想（平成9年策定）

目標：「情報結縁都市さっぽろ」の実現を目指して

インターネット黎明期  
意識してインターネットを使い、受動的に情報を得ていた時代



### 現在（平成28年）

インターネット利用の日常化、スマートフォン等デバイスの多様化  
SNS等で自ら情報を発信している時代

		札幌市情報化構想策定時 平成9年（1997年）	札幌市ICT戦略策定時 平成28年（2016年）
I C T 環 境	インターネット普及率（札幌市）	1.5%（H8）	68.4%（H27）
	PC普及率（札幌市）	29.7%（H8）	77.2%（H21）
	携帯電話普及率（札幌市）	57.7（H11）	75.8%（H26）
	スマートフォン普及率（札幌市）	—	56.3%（H26）
	インターネット接続環境	33.6kbpsダイヤルアップ +テレホーダイ	ブロードバンド +常時接続
	携帯情報端末	PDA	スマートフォン /タブレット
	主なコミュニケーションツール	パソコン通信（Nifty等） 電子掲示板（BBS） チャット メーリングリスト	Facebook Twitter Instagram LINE
札 幌 市 の 状 況	札幌市総人口（住基）	1,791千人（10月）	1,954千人（4月）
	札幌市エレクトロニクスセンター	設立10年（H8）	設立30年（H28）
	道内IT産業売上高（名目）	2,014億円	4,117億円（H26）

目指す姿

(仮称) 札幌市ICT活用戦略の目標

ICT活用先進都市  
SAPPORO

～トップランナーを目指して～

札幌 = ICTによる課題解決のショーケース

- 絶えず新たな技術が生まれ、普及し、定着していくICT。
- “サッポロバレー”と称される企業の集積と技術の蓄積を有する札幌は、進取、挑戦、調和を大事にしながら、地域課題の解決のために、まち全体でICTを活用した取組を推進する。
- その過程で生み出されるイノベーションが札幌の活性化につながり、札幌はICT活用の先進都市となる。
- 市民が豊かさを実感しながら生活し、市内の産学官がそれを支える、その姿が内外から注目され、「新たな取組なら札幌で」、「方法が知りたければ札幌へ」、「体験したければ札幌へ」が合言葉となり、ICT活用のトップランナーとなった札幌は、ICTによる都市課題解決のショーケースを目指す。

ICTでつくる誰もが暮らしやすいまち

- 札幌市民は、ICTの存在を意識することなく、その利便性を享受し、快適な生活をおくることができる。
- 暮らしに必要な情報は、時間や場所にかかわらず、多様な手段で入手することができ、迅速、確実、正確な情報がいつでも入手できる。
- ICTの活用によって防災や医療・保健・福祉サービスの質が向上し、安全性が高まり、安心して暮らせる環境が整う。
- 産業が発展し、雇用が創出されるとともに、働き方の多様化によって、働く意志のある人は誰でも働ける環境が整い、安定した生活基盤が築かれる。
- 札幌は、ICTがまちの隅々に行き渡った市民の満足度が極めて高い都市を目指す。

### ICTの活用で変わる札幌のまち



**センサーネットワーク**

チカホなど、街なかには配備したセンサーにより、リアルタイムの情報収集が可能となり、付加価値の高いサービスを創出

**ビッグデータ**

多様かつ大量のデータの収集・解析等により、札幌市が抱える地域課題を解決し、新たなビジネス、サービスを創出

**オープンデータ**

行政が保有する多種多様なデータを積極的に公開・提供することで、市民や企業は、生活、活動、ビジネス等に活用可能

**人工知能 (AI)**

人工知能に関する研究が市内の大学等の学術研究機関や企業等で進展。札幌の都市環境、自然環境を用いた実証研究が活発化

**モバイルファースト**

札幌に係る様々な情報が、スマートフォン、タブレット等のモバイル機器を使って、いつでも、どこでも、簡単に入手可能

**クラウド**

情報・データの安全性が保たれ、どこからでも、必要な時に、必要な機能だけコンピュータ資産を使用可能

**GIS (地理空間情報)**

高度なナビゲーションの実現により、効率的な降雪・災害情報等の把握、防災・減災、交通事業等に活用

**個人認証 (ID)**

様々なサービスで本人等に関する情報を連動させ、市民各々のニーズと状況に合った、より質の高いサービスを提供

## ICTの活用が進んだ 札幌のまちの将来イメージ

### 【生活】

- ・市民はICTの存在を特に意識することなく、便利で快適な生活を送っている
- ・場所や時間にかかわらず、手続きや情報収集ができ、自由度の高い行動ができている
- ・医療・保健・福祉・防災にICTが用いられ、安全・安心な市民生活に寄与している
- ・除雪に代表される札幌ならではの課題がICTによって改善され、快適性が増している
- ・ICTの活用による生活者満足度の向上により、定住の促進と転入者の増加が進んでいる

### 【産業・経済】

- ・ICT活用サービスのほとんどは、市内の企業が担い手となって開発・提供している
- ・新事業のアイデアが次々と生まれ、どこよりも早く札幌で実証・提供されている
- ・企業は、業種や規模を問わず、ICTを活用して付加価値を高め、収益と雇用を生んでいる
- ・新しい働き方、多様な働き方が浸透し、境遇を問わず、意志のある人誰もが働いている
- ・札幌の良質な環境を評価した企業の立地・進出、起業が進み、新たな雇用を生んでいる
- ・競争力を高めたICT企業等への就職者、UIターン者が増え、人材の定着が進んでいる

### 【教育・活動】

- ・ICTについて学び、その利点と課題を理解できる人材が育っている
- ・モラルを守り、ICTの特質と利点を活用しながら自ら学ぶ人材が育っている
- ・ICTの活用により、市民の生涯学習、芸術・文化・スポーツ活動が活発化している
- ・コミュニケーションが活性化し、市民活動やコミュニティの活性化につながっている

### 【行政】

- ・ICTの活用により、行財政運営の効率化が図られ、効果的な業務推進が行われている
- ・情報セキュリティ対策、個人情報保護が万全の体制で行われている
- ・個人のICT活用能力に応じて、すべての市民に必要な情報やサービスが提供されている
- ・オープンデータの推進体制が確立し、有益なデータの提供・活用がなされている
- ・課題の解決や創造的なまちづくりに向け、産学官民の連携体制が機能している

## 「目指す姿」の実現に向けた戦略

【戦略1-1】  
暮らしの質の向上

【戦略1-2】  
安全・安心の実現

【戦略2-1】  
産業の振興

【戦略2-2】  
多様な働き方と雇用の創出

【戦略3】  
教育と人づくり

【戦略4】  
効果的・効率的な行政

【リーディング・プロジェクト】

重要性や緊急性が高く、戦略を象徴する事業を重点的に推進

リーディング・プロジェクト (その1)

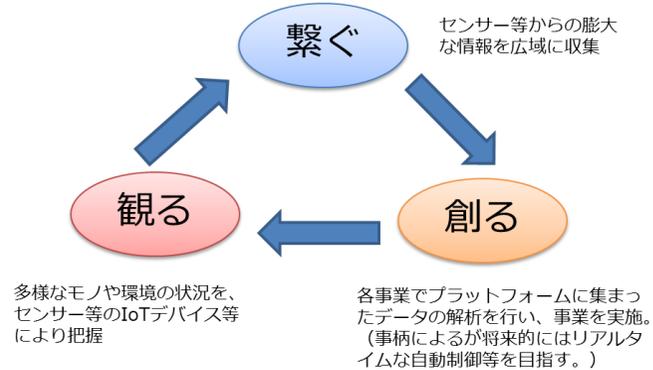
ビッグデータ・オープンデータ活用プロジェクト

【プロジェクト概要】

官民が保有するオープンデータ、ビッグデータを収集、管理するためのプラットフォームを構築し、活用促進につなげる。

【期待される成果】

- 観光、交通（雪）、健康・子育てなど様々な分野において、一元的に管理・運営。ビッグデータを活用することで新たなサービスの創出等につなげる。
- 行政のオープンデータ化により、
  - ①地域課題の解決、
  - ②行政の効率化、
  - ③官民協働の促進が期待できる。



※ (出典) 総務省情報通信審議会情報通信技術分科会技術戦略委員会中間報告書

※ リーディング・プロジェクトは今後さらに追加予定

【4つの視点】

■新たな取組への挑戦

冬季オリンピック・パラリンピックの招致活動や各種国際的イベントにおいて、札幌におけるICTの取組をアピールするとともに、創造都市にふさわしいICT関連プロジェクトを実践

■市内に集積する技術・ノウハウの活用

市内の多様な企業・個人、大学・研究機関等が蓄積してきた技術・ノウハウを生かし、ブラッシュアップし、組み合わせることで、課題解決に活用

■技術トレンドの把握・活用

ビッグデータ、オープンデータ、AI、クラウドコンピューティング、モバイルファースト等、その時々々の技術トレンドを踏まえながら、これまでにない新たなサービスや、より利便性の高いサービスを実施

■札幌のもつ各種資産の活用

自然が近く、住みやすい都市環境や、集積するIT企業、教育研究機関、人的資源など、実験・実証の取組にも適した環境を活かし、企業の参入や市外からの投資などを促進

【戦略の推進体制】

事業の推進及び進捗管理（事業の評価、見直し等）のため、産学官連携による推進体制を設置